筑紫女学園大学リポジト

筑紫女学園大学の森「筑女の森」の生物相

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2014-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐々木, 浩, 田村, 史子, 森田, 真也, 森, 弘子, 廣永, 輝彦, SASAKI, Hiroshi, TAMURA, Fumiko, MORITA, Shinya, MORI, Hiroko, HIRONAGA, Teruhiko メールアドレス: 所属:
URL	https://chikushi-u.repo.nii.ac.jp/records/72

筑紫女学園大学の森「筑女の森」の生物相

佐々木　浩・田 村 史 子・森 田 真 也・森　弘 子・廣 永 輝 彦

Fauna and Flora of the Forest in Chikushi Jogakuen University, “Chikujo no Mori”

Hiroshi SASAKI, Fumiko TAMURA, Shinya MORITA,
Hiroko MORI and Teruhiko HIRONAGA

はじめに

筑紫女学園大学は、標高151mの高雄山の北斜面山腹にあり、大学の敷地内には、山頂を含め水平面積で３haほどの森「筑女の森」が広がっている。大学の建物と山頂との標高差は70から80mあり、散策路が山頂まで通じている。この森の活用を図るため、「太宰府高雄山の歴史的・人間環境学的研究研究会（代表　田村史子文学部アジア文化学科准教授）」を2010年に発足させて活動を行って来た。本論文は、「筑女の森」の生物相を３年間調査した結果をまとめたものである。なお、田村･森2011に2010年度冬季に実施した植生と鳥類の調査結果が報告されているが、本論文では、この結果を含め１年を通した結果をとりまとめた。

調査方法

植物、鳥類、昆虫類、哺乳類に分けて、生物相の調査を実施した。

１）植物

2010年12月19日、2011年１月８日に冬季調査を実施した。この調査期のみ、任意観察法による植物相調査に加えて､「ヒノキ･スギ植林」「モウソウチク林」「クスノキ林」「伐採跡（山頂付近）」の方形区を各１個とり植生調査を行った。方形区のサイズは、「伐採跡」のみ３m×３mであり、他は25m×25mとした。さらに、植物相については、2011年６月２日、９日に春季調査、2011年８月13日に夏季調査、2011年10月15日、11月５日に秋季調査を任意観察法により実施した。

２）鳥類

2011年１月８日に冬季調査、2011年８月20日に夏季調査、2011年10月１日、11月５日に秋季調査、2012年１月28日に冬季調査、2012年５月１日に春季調査を任意観察法によって実施した。フクロウ類については、2011年１月８日、2012年４月８日、５月１日の夜間に鳴き声のCD音声を流して反応を調査した。

３）昆虫類

2012年４月８日から９日に早春季の調査、2012年５月12日から13日及び20日に春季調査、2012年７月15日から16日に夏季調査、2012年10月13日から14日に秋季調査を実施した。調査は基本的に任意採集と、ベイトトラップ、ライトトラップ、マレーズトラップを用いた採集によって行った。また、これらに併せて夏季調査ではバナナトラップも設置した。

４）哺乳類

2011年11月28日から30日、12月26日から28日、2012年１月28日から30日、２月27日から29日、３月13日から15日、４月28日から５月１日、５月26日から29日、７月27日から30日、８月27日から30日、９月26日から29日、10月23日から26日に自動撮影装置を散策路とけもの道に分散させて設置し、原則として月一回３日から４日、調査を行った。2012年７月の調査のみ、カメラの前に誘因用の餌としてブドウの蒟蒻ゼリーを置いた。各月とも、自動撮影装置は、デジタルカメラ Fieldnote DUO（麻里府商事）４台、15秒撮影を行うデジタルビデオカメラ　Fieldnote LED（麻里府商事）１台を用いた。

調査結果及び考察

１）植物

94科289種が確認された（表１）。筑女の森は、古くから人為的な影響を受けており、大部分はヒノキ、スギ、モウソウチク、クスノキなど、過去に植栽されたと考えられる樹木を中心として構成されていた。校舎近くの標高が低い場所にはスギ林、高い場所にはヒノキ林、太宰府ゴルフ倶楽部との境界になる東側はモウソウチク林が広がり、これらの林の中にクスノキの大木が点在していた。

ヒノキ・スギ植林地の方形区では、胸高直径40cm、樹高15-18m程度のヒノキが８割以上を被い、低木層にイヌビワが６割程度広がっていた（図１）。モウソウチク林の方形区では、胸高直径12cm、樹高20-22m程度のモウソウチクが８割を被い、低木層にヒサカキが３割程度広がっていた（図２）。クスノキ林の方形区では、高木層に胸高直径110cm、樹高18-20m程度のクスノキが９割、亜高木層に胸高直径20cm、樹高12-14m程度のヒノキが1.5割、低木層にイヌビワが３割程度広がっていた（図３）。山頂付近の伐採跡では、胸高直径２cm、樹高２m程度のカラスザンショ

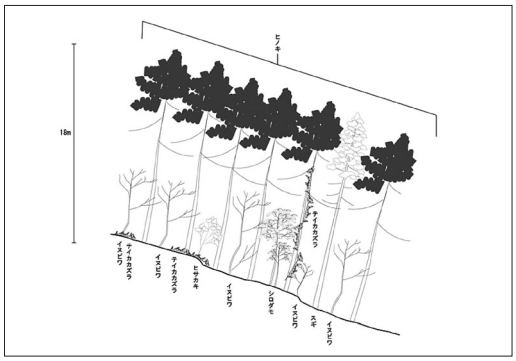

図１．ヒノキ・スギ林植生断面図

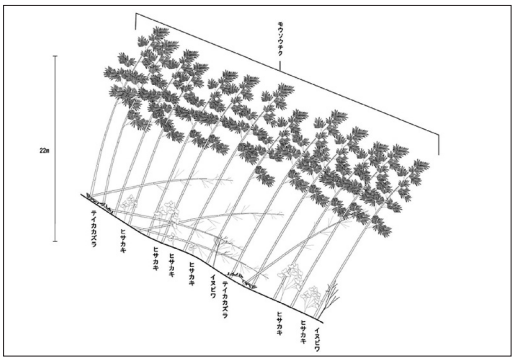

図２．モウソウチク林植生断面図

図３．クスノキ林植生断面図

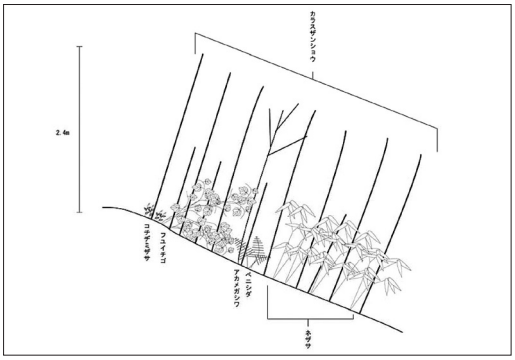

図４．伐採跡（山頂付近）林植生断面図

ウが４割を被い、草本層にネザサが９割広がっていた（図４）。

筑女の森は、人が積極的に利用して来た里山の森であるが、希少な植物として、環境省が準絶滅危惧種に指定しているニッケイの幼木がモウソウチク林で数本確認された。また、福岡県が絶滅危惧IB類に指定しているカラタチバナの幼木が散策路沿いに数カ所で、絶滅危惧種IB類に指定されているマルバノホロシが林縁や草を刈った斜面等で数カ所確認された。現在、これらの植物が発見された幾つかの場所で、簡単な柵で囲ったり、印を付けて保護を行っているが、継続的な保護を図る必要があるだろう。スギ・ヒノキについては、枝打ち等の手入れが行われていないため材を取る事は困難である。今後は、これらの伐採を徐々に進め、多様な野生生物が生息できるような針葉樹と広葉樹が混交した林を育成するのが望ましいと考える。モウソウチク林は拡大して他の林地に侵入をしている。拡大が進行すると他の樹木を枯らしモウソウチク林化していくため、モウソウチク林の利用を図りつつ、拡大した区域のモウソウチクは伐採する必要がある。

２）鳥類

７目21科45種が確認された（表２）。ホトトギスは、2013年５月に偶発的に確認され、クロツグミとコルリは、哺乳類調査のために設置された自動撮影装置によって撮影された。

コゲラ、キジバト、ヤマガラ、シジュウカラなどの多くの留鳥に加え、リュウキュウサンショウクイ、シロハラ、アカハラ、ルリビタキ、ジョウビタキ、ビンズイ、マヒワ、ミヤマホオジロ、クロジ等の冬鳥、ツバメ、センダイムシクイ、キビタキ等の夏鳥、渡りの途中と考えられるハイタカ、メボソムシクイ、エゾビタキ、コサメビタキ等が記録された。

各種の生息地の特徴から見ると、コゲラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ウグイス等の樹林性の種、キジバト、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ等の耕作地やその周辺によく見られる種、カラス類、ヒヨドリ、スズメ等の住宅地周辺にも出現する種が観察され、海辺に多いトビや河川等で見られるゴイサギ、アオサギ等も上空を通過するのが観察された。ハシボソガラス、ハシブトガラス、ハクセキレイは大学構内で餌を探し、エナガ、シジュウカラ等が頻繁に樹木の間を行き来し、メジロ、ルリビタキがハゼノキやカラスザンショウの実を、シロハラがクスノキの実を、ヤマガラ、カワラヒワがノグルミの実を食べ、ミヤマホオジロ、クロジが林床で採餌するなど、それぞれの種が学内の多様な環境を利用していた。

大学周辺には、住宅地、耕作地、河川があり、筑女の森は高雄山の他の森に繋がっている。確認された鳥類の多くは、大学とその周辺地域、高雄山一帯にかけての樹林等を餌場・生息地として利用していると考えられる。

希少な鳥類として、環境省が準絶滅危惧種に指定しているハイタカ、福岡県が絶滅危惧IB類に指定しているコルリ、絶滅危惧II類に指定しているセンダイムシクイ、準絶滅危惧に指定しているクロツグミ、情報不足に指定しているコサメビタキが確認された。渡りの途中に一時的に滞在しているか、繁殖しているかどうかは不明であり、今後の情報収集が必要だろう。

3）昆虫類

12目103科296種が確認された（表３）。早春季には、成虫越冬するタテハチョウ類やツチイナゴ、早春のみに見られるタカオハナアブ、ビロウドツリアブ、ツマキチョウ等が記録された。林床に設置したベイトトラップでは、ヒメオサムシ、アメイロアリ、キイロシリアゲアリ等が確認された。高尾山の山頂付近や校舎近くの陽のあたる場所ではハナアブ類が多く、林縁部から校舎周辺、駐車場等においてベニシジミやスジグロシロチョウ、モンシロチョウ等が飛翔する姿が見られた。

春季には、アゲハ類、ゴマダラチョウ等のチョウ類の春型、シオヤトンボやジュウシチホシハナムグリ、ジョウカイボン等の春季に活動する昆虫類が観察された。また、営巣前のオオスズメバチ等が活動を開始していた。高尾山の山頂部付近はチョウ類の通り道となっており、モンキアゲハ等の通過が観察された。林内から林縁部にはクロヒカゲ等のジャノメチョウ類が見られ、ホシベニカミキリ等のカミキリ類も観察された。一晩設置したライトトラップとマレーズトラップでは、モンシロツマキリエダシャク、ホソバネグロシャチホコ等のガ類が採集された。

夏季には、149種と最も多くの昆虫が記録された。特にセミ類、トンボ目、コウチュウ目等は種数、個体数とも増加した。高尾山山頂付近ではクロアゲハやナガサキアゲハ等のアゲハ類の他、占有行動をとるゴマダラチョウや、樹上を飛翔するヤマトタマムシ、オオヨツスジハナカミキリ

等の甲虫類、オナガサナエ、チョウトンボ等のトンボ類の未成熟個体も多数観察された。一方、林内ではニイニイゼミやヒグラシの鳴き声が確認された。バナナトラップには多くのカナブンをはじめ、コクワガタやクロヒカゲ等が集まった。マレーズトラップではシロスジギングチやヤマトアブ等、林縁部を飛翔する昆虫が採集された。ライトトラップではコウチュウ目が多く確認され、この中にはハイイロゲンゴロウやトゲバゴマフガムシ等の水生甲虫も含まれていた。ベイトトラップではヒメアリ、オオズアリ等のアリ類や、クロシデムシ等のコウチュウ類が確認された。

秋季はセスジツユムシ、ヒメクダマキモドキ、カネタタキ等のバッタ目や、ハラビロカマキリ、コカマキリ等の成虫が増加していた。また、テングチョウやアカタテハ等、成虫越冬するチョウ類もふたたび出現していた。高尾山山頂付近では、日当たりの良い樹上などにウラギンシジミ、ムラサキシジミ、ムラサキツバメ等が多くみられた。林縁部では、クモを狩るキバネトゲアシベッコウや飛翔するアカマダラセンチコガネ、ホシホウジャク等が観察された。ベイトトラップではクチキコオロギ、クマスズムシ等のバッタ目やミカドオオアリなどが確認された。

希少な昆虫として、環境省レッドリストで情報不足とされているヤマトアシナガバチが採集された。本種は西日本では平地の人家付近から低山地にかけて見られ、住宅地、大学校舎と隣接する「筑女の森」は生息に適した環境であると考えられる。

昆虫は生物の中で最も種数の多い分類群であり、４回の調査では、目録に示した以外に同定が完了しなかった多数の標本が得られた。これらの分析と併せて、より詳細な昆虫相調査の継続が望まれる。

４）哺乳類

５目８科10種が確認された（表４）。コウベモグラは、散策路のトンネルやモグラ塚によって生息を確認した。ニホンザルは、2012年11月25日12：39頃、１頭が、筑女の森から正門に降りて来て、再度森に戻った事が、目撃や監視カメラの映像で確認された。ムササビは、2006年10月10日の夜間に、体育館北側の窓枠にいる所を写真撮影された。この他、学内でイタチやタヌキが目撃されている。タヌキは８月、９月に、アナグマは７月８月に２頭で移動している事が確認された。写真からは、両種とも、ペアではなく、その年に生まれた子どもの可能性が高いと考えられた。

ノラネコ、タヌキがほぼ通年で確認されているが、ノラネコは周辺の住宅地に生息する多くの個体が森を通路として利用し、タヌキは定住している可能性が高いと考えられる。アナグマは、筑女の森を生息地の一部として一時的に利用している可能性が高い。

希少な哺乳類として、福岡県が情報不足に指定しているニホンザルとムササビが確認された。ムササビは隣接する太宰府天満宮･九州国立博物館の森に生息しており、その森は宝満山に繋がっている。両種は一時的に筑女の森を利用していたと考えられる。

筑女の森は、西側の石穴稲荷神社の鎮守の森、東側のゴルフ場周辺の森、南側の太宰府市の不燃物分別場周辺の森、北側の太宰府天満宮・九州国立博物館の森と繋がっている。多くの哺乳類は、これらの森を行き来しながら生活していると考えられ、哺乳類を保護するためには、移動ルー

トを分断しないように配慮をし、他の森とともに保全していく必要があると考えられる。

5）両生類・爬虫類

両生類では、ヒキガエル科ニホンヒキガエル*Bufo japonicus japonicus*、アカガエル科ヤマアカガエル*Rana ornativentris*、アオガエル科シュレーゲルアオガエル*Rhacophorus schlegelii*、爬虫類では、ヤモリ科ニホンヤモリ*Gekko japonicus*、カナヘビ科ニホンカナヘビ*Takydromus tachydromoides*、ナミヘビ科シマヘビ*Elaphe quadrivirgata*、ヤマカガシ*Rhabdophis tigrinus*、クサリヘビ科ニホンマムシ*Gloydius blomhoffii*が、偶発的に目撃された。筑女の森には水場がないため、多様な両生類・爬虫類が棲息しているとは考えにくいが、今後は、これらの動物群についても情報を収集する必要がある。

筑女の森は、面積も小さく、人為的に植えられたと考えられる樹木が中心である福岡県の一般的な里山の森である。しかし、希少な種が少ないながらも生息しており、大学のキャンパス内にあるため、研究・教育に日常的に活用できるという利点がある。2013年には炭焼き釜が作られてタケ炭作りが開始された。また、これまでの研究を活用して、2013年３月に森の歴史や自然についてのパンフレット「筑女の森マップ」が作成され、講義への活用が開始されている。今後は、この基礎調査を生かし、ネーチャーセンター等を設置して積極的な利用を図る必要があると考える。

謝　　辞

調査に協力いただいた、栗原幸則、村尾裕美、一野香織、笛田美香、鶴清朗各氏に感謝したい。本研究は、2011年度、2012年度筑紫女学園大学・短期大学部特別研究助成費を受けて実施されたものである。

参考文献

福岡県　2011.　福岡県の希少野生生物　福岡県レッドデータブック2011-植物群落・植物・哺乳類・鳥類-. 福岡県, 福岡, 240pp.

環境省　2011.　報道発表資料　第４次レッドリストの公表について.　環境省ホームページ http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15619.（2012年８月28日版）

Ohdachi, S.D., Ishibashi, Y., Iwasa, M.A. and Saitoh, T. 2009. The Wild Mammals of Japan. Shoukadoh, Kyoto, 544pp.

田村史子・森　弘子　2011.　太宰府高雄山の歴史的・人間環境学的研究-共生（ともいき）の視点から-人間文化研究所年報　22: 47-63.

表１．植物リスト

No.	分類	科名	和名	学名	調査時期(2010年～2011年)				備考
					冬季	春季	夏季	秋季	
1	シダ植物	ヒカゲノカズラ科	トウゲシバ	*Lycopodium serratum*			●		
2		イワヒバ科	タチクラマゴケ	*Selaginella nipponica*	●	●	●		
3		トクサ科	スギナ	*Equisetum arvense*		●		●	
4		ハナヤスリ科	オオハナワラビ	*Botrychium japonicum*		●	●	●	
5			フユノハナワラビ	*Botrychium ternatum*	●				
6		ゼンマイ科	ゼンマイ	*Osmunda japonica*	●	●	●	●	
7		キジノオシダ科	オオキジノオ	*Plagiogyria euphlebia*		●	●	●	
8			キジノオシダ	*Plagiogyria japonica*	●		●	●	
9		ウラジロ科	コシダ	*Dicranopteris linearis*	●	●	●	●	
10			ウラジロ	*Gleichenia japonica*	●	●	●	●	
11		フサシダ科	カニクサ	*Lygodium japonicum*		●	●	●	
12		コバノイシカグマ科	イヌシダ	*Dennstaedtia hirsuta*			●		
13			コバノイシカグマ	*Dennstaedtia scabra*			●	●	
14			フモトシダ	*Microlepia marginata*	●	●	●	●	
15		ホングウシダ科	ホラシノブ	*Sphenomeris chinensis*	●	●	●	●	
16		ミズワラビ科	イワガネゼンマイ	*Coniogramme intermedia*		●	●	●	
17			イワガネソウ	*Coniogramme japonica*	●		●	●	
18			タチシノブ	*Onychium japonicum*		●	●		
19		イノモトソウ科	アマクサシダ	*Pteris dispar*			●	●	
20			イノモトソウ	*Pteris multifida*	●	●	●	●	
21		チャセンシダ科	トラノオシダ	*Asplenium incisum*		●	●		
22		シシガシラ科	シシガシラ	*Struthiopteris niponica*	●	●	●	●	
23			オオカグマ	*Woodwardia japonica*	●	●	●	●	
24		オシダ科	オオカナワラビ	*Arachniodes amabilis*	●	●	●	●	
25			ハカタシダ	*Arachniodes simplicior*	●				
26			オニカナワラビ	*Arachniodes simplicior* var. *major*	●	●	●	●	
27			コバノカナワラビ	*Arachniodes sporadosora*			●	●	
28			キヨスミヒメワラビ	*Ctenitis maximowicziana*			●	●	
29			オニヤブソテツ	*Cyrtomium falcatum*				●	
30			ヤブソテツ	*Cyrtomium fortunei*		●	●	●	
31			ベニシダ	*Dryopteris erythrosora*	●	●		●	
32			トウゴクシダ	*Dryopteris erythrosora* var. *dilatata*		●	●	●	
33			マルバベニシダ	*Dryopteris fuscipes*		●	●		
34			オオベニシダ	*Dryopteris hondoensis*			●		
35			ナガバノイタチシダ	*Dryopteris sparsa*	●	●	●	●	
36			オクマワラビ	*Dryopteris uniformis*		●	●		
37			オオイタチシダ	*Dryopteris varia var. hikonensis*		●	●		
38			イノデ	*Polystichum polyblepharum*		●		●	
39			サイゴクイノデ	*Polystichum pseudo-makinoi*			●	●	
40			イノデモドキ	*Polystichum tagawanum*	●	●	●	●	
41		ヒメシダ科	ホシダ	*Cyclogramma acuminatus*			●	●	
42			ゲジゲジシダ	*Phegopteris decursive-pinnata*	●	●	●		
43			ミゾシダ	*Stegnogramma pozoi* ssp. *mollissima*	●	●	●	●	
44			ハシゴシダ	*Thelypteris glanduligera*	●				
45			コハシゴシダ	*Thelypteris glanduligera* var. *elatior*	●		●	●	
46			ヤワラシダ	*Thelypteris laxa*		●	●		
47			ヒメワラビ	*Thelypteris torresiana* var. *calvata*		●	●		
48		メシダ科	ホソバイヌワラビ	*Athyrium iseanum*		●		●	
49			タニイヌワラビ	*Athyrium otophorum*		●	●		
50			ウラボシノコギリシダ	*Athyrium sheareri*			●		
51			シケチシダ	*Cornopteris decurrenti-alata*		●	●	●	
52			シケシダ	*Deparia japonica*			●		
53			ヒカゲワラビ	*Diplazium chinense*			●		
54			シロヤマシダ	*Diplazium hachijoense*	●	●	●		
55			ミヤマノコギリシダ	*Diplazium mettenianum*	●	●	●	●	
56		ウラボシ科	ノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus*	●	●	●	●	
57	裸子植物	イチョウ科	イチョウ	*Ginkgo biloba*	●	●	●	●	植栽
58		マツ科	アカマツ	*Pinus densiflora*	●	●	●	●	
59		スギ科	スギ	*Cryptomeria japonica*	●	●	●	●	植栽
60		ヒノキ科	ヒノキ	*Chamaecyparis obtusa*	●	●	●	●	植栽
61		マキ科	イヌマキ	*Podocarpus macrophyllus*	●		●		
62	離弁花類	ヤマモモ科	ヤマモモ	*Myrica rubra*	●		●	●	
63		クルミ科	ノグルミ	*Platycarya strobilacea*	●	●	●	●	
64		カバノキ科	オオバヤシャブシ	*Alnus sieboldiana*	●			●	逸出
65			イヌシデ	*Carpinus tschonoskii*	●				
66		ブナ科	クリ	*Castanea crenata*	●			●	
67			ツブラジイ	*Castanopsis cuspidata*			●	●	
68			アラカシ	*Quercus glauca*	●	●	●	●	
69			コナラ	*Quercus serrata*	●	●	●	●	
70		ニレ科	ムクノキ	*Aphananthe aspera*	●	●	●	●	
71			エノキ	*Celtis sinensis* var. *japonica*	●	●	●	●	
72			ケヤキ	*Zelkova serrata*			●		
73		クワ科	ヒメコウゾ	*Broussonetia kazinoki*	●	●	●	●	
74			クワクサ	*Fatoua villosa*			●		
75			イヌビワ	*Ficus erecta*	●	●	●	●	
76			イタビカズラ	*Ficus oxyphylla*	●	●	●	●	
77			ヤマグワ	*Morus australis*				●	

No.	分類	科名	和名	学名	調査時期(2010年～2011年)				備考
					冬季	春季	夏季	秋季	
78	離弁花類	イラクサ科	クサマオ	*Boehmeria nivea*				●	
79			メヤブマオ	*Boehmeria platanifolia*			●	●	
80			アオミズ	*Pilea pumila*				●	
81		タデ科	シンミズヒキ	*Antenoron neo-filiforme*		●	●	●	
82			イヌタデ	*Persicaria longiseta*				●	
83		ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	*Phytolacca americana*			●		帰化
84		ナデシコ科	オランダミミナグサ	*Cerastium glomeratum*		●			帰化
85			ツメクサ	*Sagina japonica*			●		
86			ウシハコベ	*Stellaria aquatica*		●		●	
87			ミドリハコベ	*Stellaria neglecta*		●			
88			ミヤマハコベ	*Stellaria sessiliflora*			●		
89		ヒユ科	ヒカゲイノコズチ	*Achyranthes bidentata* var. *japonica*			●	●	
90		モクレン科	ホオノキ	*Magnolia hypoleuca*	●	●	●	●	
91		マツブサ科	サネカズラ	*Kadsura japonica*	●	●	●	●	
92		クスノキ科	クスノキ	*Cinnamomum camphora*	●	●	●	●	
93			ヤブニッケイ	*Cinnamomum japonicum*	●	●	●	●	
94			ニッケイ	*Cinnamomum sieboldii*	●				逸出、環境省RL:NT
95			カナクギノキ	*Lindera erythrocarpa*			●		
96			タブノキ	*Machilus thunbergii*	●	●	●	●	
97			イヌガシ	*Neolitsea aciculata*			●		
98			シロダモ	*Neolitsea sericea*	●	●	●	●	
99		キンポウゲ科	ヒメウズ	*Aquilegia adoxoides*		●			
100			ボタンツル	*Clematis apiifolia*		●	●	●	
101		メギ科	ヒイラギナンテン	*Mahonia japonica*	●	●	●	●	逸出
102			ナンテン	*Nandina domestica*	●		●		
103		アケビ科	ゴヨウアケビ	*Akebia pentaphylla*	●	●		●	
104			アケビ	*Akebia quinata*		●			
105			ミツバアケビ	*Akebia trifoliata*	●	●	●	●	
106			ムベ	*Stauntonia hexaphylla*	●	●	●	●	
107		ツヅラフジ科	アオツヅラフジ	*Cocculus orbiculatus*	●				
108		ドクダミ科	ドクダミ	*Houttuynia cordata*		●	●	●	
109		センリョウ科	センリョウ	*Sarcandra glabra*			●	●	逸出
111		ツバキ科	サカキ	*Cleyera japonica*	●	●		●	
112			ヒサカキ	*Eurya japonica*	●	●	●	●	
110			サザンカ	*Camellia sasanqua*	●	●	●	●	植栽
113			チャノキ	*Thea sinensis*	●	●	●	●	逸出
114		ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	*Sedum bulbiferum*		●			
115		ユキノシタ科	コガクウツギ	*Hydrangea luteo-venosa*	●	●		●	
116			アジサイ	*Hydrangea macrophylla*	●	●		●	植栽
117			ユキノシタ	*Saxifraga stolonifera*	●		●	●	
118		バラ科	ヘビイチゴ	*Duchesnea chrysantha*		●	●	●	
119			ミツバツチグリ	*Potentilla freyniana*	●				
120			ヤマザクラ	*Prunus jamasakura*	●		●		
121			フユイチゴ	*Rubus buergeri*	●	●	●	●	
122			ビロウドイチゴ	*Rubus corchorifolius*	●	●	●	●	
123			クサイチゴ	*Rubus hirsutus*	●	●	●	●	
124			ナガバモミジイチゴ	*Rubus palmatus*		●	●		
125		マメ科	ノササゲ	*Dumasia truncata*		●	●	●	
126			ノアズキ	*Dunbaria villosa*				●	
127			ヤハズソウ	*Kummerowia striata*				●	
128			マルバハギ	*Lespedeza cyrtobotrya*				●	
129			ナツフジ	*Millettia japonica*	●	●	●	●	
130			クズ	*Pueraria lobata*	●	●	●	●	
131			タンキリマメ	*Rhynchosia volubilis*			●	●	
132			シロツメクサ	*Trifolium repens*		●	●	●	帰化
133			ヤハズエンドウ	*Vicia angustifolia*				●	
134			カスマグサ	*Vicia tetrasperma*		●			
135			ヤマフジ	*Wisteria brachybotrys*			●	●	
136		カタバミ科	カタバミ	*Oxalis corniculata*		●	●	●	
137			ムラサキカタバミ	*Oxalis corymbosa*		●			帰化
138		フウロソウ科	アメリカフウロ	*Geranium carolinianum*		●			帰化
139		トウダイグサ科	エノキグサ	*Acalypha australis*			●	●	
140			コニシキソウ	*Euphorbia supina*				●	帰化
141			アカメガシワ	*Mallotus japonicus*	●	●	●	●	
142			コミカンソウ	*Phyllanthus urinaria*			●	●	帰化
143		ユズリハ科	ヒメユズリハ	*Daphniphyllum teijsmannii*	●				
144		ミカン科	カラスザンショウ	*Zanthoxylum ailanthoides*	●	●	●	●	
145			サンショウ	*Zanthoxylum piperitum*				●	
146		ウルシ科	ヌルデ	*Rhus javanica* var. *roxburgii*		●		●	
147			ハゼノキ	*Rhus succedanea*	●	●	●	●	
148			ヤマハゼ	*Rhus sylvestris*		●	●		
149			ヤマウルシ	*Rhus trichocarpa*	●				
150		カエデ科	イロハモミジ	*Acer palmatum*		●	●	●	
151		モチノキ科	ナナミノキ	*Ilex chinensis*		●			
152			イヌツゲ	*Ilex crenata*		●	●	●	
153			モチノキ	*Ilex integra*	●				
154			クロガネモチ	*Ilex rotunda*	●	●			
155		ニシキギ科	ツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus*		●	●	●	
156			マサキ	*Euonymus japonicus*	●	●		●	

No.	分類	科名	和名	学名	調査時期(2010年～2011年)				備考
					冬季	春季	夏季	秋季	
157	離弁花類	ミツバウツギ科	ゴンズイ	*Euscaphis japonica*	●	●	●	●	
158		ブドウ科	ノブドウ	*Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*		●	●	●	
159			ヤブガラシ	*Cayratia japonica*		●	●	●	
160			ツタ	*Parthenocissus tricuspidata*		●	●	●	
161		ホルトノキ科	ホルトノキ	*Elaeocarpus sylvestris* var. *ellipticus*	●				
162		グミ科	ナワシログミ	*Elaeagnus pungens*	●	●	●	●	
163		スミレ科	コスミレ	*Viola japonica*		●	●	●	
164			スミレ	*Viola mandshurica*				●	
165			ヒメスミレ	*Viola minor*		●	●	●	
166			ニオイタチツボスミレ	*Viola obtusa*		●		●	
167			ツボスミレ	*Viola verecunda*				●	
168		ウリ科	アマチャヅル	*Gynostemma pentaphyllum*		●	●		
169			カラスウリ	*Trichosanthes cucumeroides*				●	
170			キカラスウリ	*Trichosanthes kirilowii* var. *japonica*		●	●	●	
171		アカバナ科	メマツヨイグサ	*Oenothera biennis*	●				帰化
172			コマツヨイグサ	*Oenothera laciniata*				●	帰化
173		ミズキ科	アオキ	*Aucuba japonica*	●	●	●	●	
174			クマノミズキ	*Cornus macrophylla*	●	●			
175		ウコギ科	コシアブラ	*Acanthopanax sciadophylloides*	●	●	●	●	
176			タラノキ	*Aralia elata*		●	●	●	
177			カクレミノ	*Dendropanax trifidus*	●	●	●	●	
178			タカノツメ	*Evodiopanax innovans*			●		
179			ヤツデ	*Fatsia japonica*	●	●	●	●	
180			キヅタ	*Hedera rhombea*	●	●	●	●	
181		セリ科	ツボクサ	*Centella asiatica*		●		●	
182			ミツバ	*Cryptotaenia japonica*		●		●	
183			オオバチドメ	*Hydrocotyle javanica*		●	●	●	
184			ノチドメ	*Hydrocotyle maritima*		●			
185			ヤブニンジン	*Osmorhiza aristata*		●			
186	合弁花類	ツツジ科	ネジキ	*Lyonia ovalifolia* var. *elliptica*			●		
187			シャシャンポ	*Vaccinium bracteatum*	●	●		●	
188		ヤブコウジ科	マンリョウ	*Ardisia crenata*	●	●	●	●	
189			カラタチバナ	*Ardisia crispa*	●		●	●	福岡県RDB:EN
190			ヤブコウジ	*Ardisia japonica*	●	●	●	●	
191			イズセンリョウ	*Maesa japonica*	●	●	●	●	
192		サクラソウ科	オカトラノオ	*Lysimachia clethroides*			●		
193			コナスビ	*Lysimachia japonica* f. *subsessilis*	●		●	●	
194		カキノキ科	カキノキ	*Diospyros kaki*				●	
195		エゴノキ科	エゴノキ	*Styrax japonicus*		●	●	●	
196		ハイノキ科	クロキ	*Symplocos lucida*	●	●	●	●	
197		モクセイ科	ネズミモチ	*Ligustrum japonicum*	●	●	●	●	
198			ヒイラギモクセイ	*Osmanthus fortunei*	●	●	●	●	植栽
199			ヒイラギ	*Osmanthus heterophyllus*	●	●	●	●	
200		リンドウ科	ツルリンドウ	*Tripterospermum japonicum*				●	
201		キョウチクトウ科	テイカカズラ	*Trachelospermum asiaticum* f. *intermedium*	●	●	●	●	
202		アカネ科	オオアリドオシ	*Damnacanthus indicus* ssp. *major*	●	●			
203			キクムグラ	*Galium kikumugura*		●	●		
204			ヤマムグラ	*Galium pogonanthum*		●	●	●	
205			ヤエムグラ	*Galium spurium* var. *echinospermon*	●	●		●	
206			ハシカグサ	*Hedyotis lindleyana* var. *hirsuta*		●	●	●	
207			ヤイトバナ	*Paederia scandens*	●	●	●	●	
208		ムラサキ科	ハナイバナ	*Bothriospermum tenellum*	●	●			
209			キュウリグサ	*Trigonotis peduncularis*		●			
210		クマツヅラ科	ムラサキシキブ	*Callicarpa japonica*	●		●	●	
211			ヤブムラサキ	*Callicarpa mollis*	●	●	●	●	
212			クサギ	*Clerodendrum trichotomum*	●	●	●	●	
213		シソ科	キランソウ	*Ajuga decumbens*		●	●	●	
214			トウバナ	*Clinopodium gracile*		●	●	●	
215			ホトケノザ	*Lamium amplexicaule*	●			●	
216			ヒメオドリコソウ	*Lamium purpureum*				●	
217			イヌコウジュ	*Mosla punctulata*				●	
218			ツクシタツナミソウ	*Scutellaria laeteviolacea* var. *discolor*		●			
219		ナス科	ヒヨドリジョウゴ	*Solanum lyratum*	●	●		●	
220			マルバノホロシ	*Solanum maximowiczii*			●		福岡県RDB:EN
221		ゴマノハグサ科	タチイヌノフグリ	*Veronica arvensis*		●			帰化
222			オオイヌノフグリ	*Veronica persica*		●			帰化
223		オオバコ科	オオバコ	*Plantago asiatica*	●	●	●	●	
224		スイカズラ科	キダチニンドウ	*Lonicera hypoglauca*	●	●		●	
225			スイカズラ	*Lonicera japonica*		●	●		
226			ソクズ	*Sambucus chinensis*		●			
227			ニワトコ	*Sambucus racemosa* ssp. *sieboldiana*	●	●	●		
228			コバノガマズミ	*Viburnum erosum* var. *punctatum*		●		●	
229			ハクサンボク	*Viburnum japonicum*		●			
230			サンゴジュ	*Viburnum odoratissimum* var. *awabuki*	●				逸出
231		オミナエシ科	オトコエシ	*Patrinia villosa*		●		●	

No.	分類	科名	和名	学名	調査時期(2010年～2011年)				備考
					冬季	春季	夏季	秋季	
232	合弁花類	キク科	ヌマダイコン	*Adenostemma lavenia*			●	●	
233			キッコウハグマ	*Ainsliaea apiculata*		●			
234			ヨモギ	*Artemisia princeps*		●		●	
235			ホソバガンクビソウ	*Carpesium divaricatum* var. *abrotanoides*			●	●	
236			ヒメガンクビソウ	*Carpesium rosulatum*			●		
237			ノアザミ	*Cirsium japonicum*		●			
238			オオアレチノギク	*Conyza sumatrensis*	●	●		●	帰化
239			ベニバナボロギク	*Crassocephalum crepidioides*	●				帰化
240			ヒヨドリバナ	*Eupatorium chinense* var. *oppositifolium*		●		●	
241			ツワブキ	*Farfugium japonicum*	●	●	●	●	
242			ハハコグサ	*Gnaphalium affine*		●			
243			チチコグサ	*Gnaphalium japonicum*	●	●			
244			チチコグサモドキ	*Gnaphalium pensylvanicum*			●		帰化
245			ウラジロチチコグサ	*Gnaphalium spicatum*	●	●	●	●	帰化
246			ブタナ	*Hypochoeris radicata*		●		●	帰化
247			ニガナ	*Ixeris dentata*		●			
248			イワニガナ	*Ixeris stolonifera*			●	●	
249			アキノノゲシ	*Lactuca indica* var. *indica*		●	●	●	
250			ムラサキニガナ	*Lactuca sororia*		●	●	●	
251			コオニタビラコ	*Lapsana apogonoides*			●		
252			ヤブタビラコ	*Lapsana humilis*			●		
253			セイタカアワダチソウ	*Solidago altissima*	●	●			帰化
254			ノゲシ	*Sonchus oleraceus*	●	●			
255			ヒメジョオン	*Stenactis annuus*		●		●	帰化
256			セイヨウタンポポ	*Taraxacum officinale*		●		●	帰化
257			オニタビラコ	*Youngia japonica*	●	●		●	
258	単子葉植物	ユリ科	ソクシンラン	*Aletris spicata*		●			
259			ホウチャクソウ	*Disporum sessile*		●	●	●	
260			ウバユリ	*Lilium cordatum*		●	●	●	
261			ヤブラン	*Liriope muscari*	●	●	●	●	
262			ジャノヒゲ	*Ophiopogon japonicus*	●	●	●		
263			ナガバジャノヒゲ	*Ophiopogon ohwii*	●	●	●	●	
264			ナルコユリ	*Polygonatum falcatum*		●			
265			オモト	*Rohdea japonica*			●		
266			サルトリイバラ	*Smilax china*	●	●	●	●	
267		ヤマノイモ科	ヤマノイモ	*Dioscorea japonica*		●	●	●	
268			オニドコロ	*Dioscorea tokoro*		●			
269		ツユクサ科	ツユクサ	*Commelina communis*		●	●	●	
270			ヤブミョウガ	*Pollia japonica*		●	●	●	
271		イネ科	ヤマヌカボ	*Agrostis clavata*		●			
272			ヌカボ	*Agrostis clavata* ssp. *matsumurae*		●			
273			コブナグサ	*Arthraxon hispidus*	●				
274			ヒメコバンソウ	*Briza minor*		●			帰化
275			メヒシバ	*Digitaria ciliaris*			●	●	
276			コメヒシバ	*Digitaria radicosa*				●	
277			トボシガラ	*Festuca parvigluma*		●			
278			ササガヤ	*Microstegium japonicum*				●	
279			ケチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius*			●	●	
280			コチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius* var. *japonicus*	●	●		●	
281			スズメノヒエ	*Paspalum thunbergii*				●	
282			モウソウチク	*Phyllostachys pubescens*	●	●	●	●	植栽
283			ネザサ	*Pleioblastus chino* var. *viridis*	●	●	●	●	
284			メダケ	*Pleioblastus simonii*			●		
285			コツブキンエノコロ	*Setaria pallide-fusca*				●	
286		ヤシ科	シュロ	*Trachycarpus fortunei*	●	●	●	●	逸出
287		カヤツリグサ科	ナキリスゲ	*Carex lenta*				●	
288		ショウガ科	ハナミョウガ	*Alpinia japonica*		●			
289		ラン科	コクラン	*Liparis nervosa*	●	●	●	●	
		94科		289種	129種	194種	183種	194種	

注１）種名及び配列は基本的に「植物目録」（環境庁、1989）に従った。
注２）重要種の凡例
環境省RL：「第4次レッドリストの公表について」（2012年）
NT：準絶滅危惧
福岡県RDB：「福岡県の希少野生生物　－福岡県レッドデータブック2011 植物群落・植物・鳥類・哺乳類－」の掲載種
EN：絶滅危惧IB類

表２．鳥類リスト

No.	目名	科名	和名	学名	調査時期						備考
					2011年			2012年		その他	
					冬季	夏季	秋季	冬季	春季		
1	ハト目	ハト科	キジバト	*Streptopelia orientalis*	●	●	●	●	●		
2	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ	*Nycticorax nycticorax*					●		
3			アオサギ	*Ardea cinerea*					●		
4	カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス	*Cuculus poliocephalus*						△	
5	タカ目	タカ科	トビ	*Milvus migrans*		●					
6			ハイタカ	*Accipiter nisus*					●		環境省RL：NT
7	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ	*Strix uralensis*					●		
8	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	*Dendrocopos kizuki*	●	●	●	●	●		
9	スズメ目	サンショウクイ科	リュウキュウサンショウク	*Pericrocotus divaricatus tegimae*	●			●	●		
10		モズ科	モズ	*Lanius bucephalus*	●		●				
11		カラス科	カササギ	*Pica pica*	●		●	●	●		
12			ハシボソガラス	*Corvus corone*	●	●	●	●	●		
13			ハシブトガラス	*Corvus macrorhynchos*	●	●	●	●	●		
14		シジュウカラ科	ヤマガラ	*Poecile varius*	●	●	●	●	●		
15			シジュウカラ	*Parus minor*	●	●	●	●	●		
16		ツバメ科	ツバメ	*Hirundo rustica*		●	●		●		
17		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	*Hypsipetes amaurotis*	●	●	●	●	●		
18		ウグイス科	ウグイス	*Cettia diphone*	●	●	●	●	●		
19		エナガ科	エナガ	*Aegithalos caudatus*			●	●	●		
20		ムシクイ科	メボソムシクイ	*Phylloscopus xanthodryas*			●				
21			センダイムシクイ	*Phylloscopus coronatus*		●					福岡県RDB：VU
22		メジロ科	メジロ	*Zosterops japonicus*	●	●	●	●	●		
23		ヒタキ科	クロツグミ	*Turdus cardis*						△	福岡県RDB：NT
24			シロハラ	*Turdus pallidus*	●		●	●	●		
25			アカハラ	*Turdus chrysolaus*				●			
26			ツグミ	*Turdus naumanni*	●						
27			コルリ	*Luscinia cyane*						△	福岡県RDB：EN
28			ルリビタキ	*Tarsiger cyanurus*	●			●			
29			ジョウビタキ	*Phoenicurus auroreus*	●		●	●			
30			エゾビタキ	*Muscicapa griseisticta*			●				
31			コサメビタキ	*Muscicapa dauurica*			●				福岡県RDB：DD
32			キビタキ	*Ficedula narcissina*		●			●		
33		スズメ科	スズメ	*Passer montanus*		●	●	●	●		
34		セキレイ科	ハクセキレイ	*Motacilla alba*	●	●	●	●	●		
35			ビンズイ	*Anthus hodgsoni*				●			
36		アトリ科	カワラヒワ	*Chloris sinica*	●		●	●	●		
37			マヒワ	*Carduelis spinus*	●						
38			シメ	*Coccothraustes coccothraustes*	●						
39			イカル	*Eophona personata*	●						
40		ホオジロ科	ホオジロ	*Emberiza cioides*	●						
41			ミヤマホオジロ	*Emberiza elegans*	●						
42			アオジ	*Emberiza spodocephala*	●						
43			クロジ	*Emberiza variabilis*	●			●			
44	ハト目	ハト科	カワラバト	*Columba livia*			●	●	●		外来種
45	スズメ目	チメドリ科	ソウシチョウ	*Leiothrix lutea*	●		●	●	●		外来種
	7目	21科		45種	26種	15種	23種	23種	24種	3種	

注１）種名及び配列は「日本鳥類目録第７版」（日本鳥学会、2012）に従った。

注２）重要種の凡例

環境省RL：「第４次レッドリストの公表について」（2012年）

NT：準絶滅危惧

福岡県RDB：「福岡県の希少野生生物　－福岡県レッドデータブック2011 植物群落・植物・鳥類・哺乳類－」の掲載種

EN：絶滅危惧IB類　VU：絶滅危惧II類　NT：準絶滅危惧　DD：情報不足

表３．昆虫リスト

No.	目名	科名	和名	学名	調査時期(2012年)				備考
					早春季	春季	夏季	秋季	
1	トンボ目	アオイトトンボ科	オオアオイトトンボ	*Lestes temporalis*			●	●	
2		カワトンボ科	ハグロトンボ	*Calopteryx atrata*			●		
3		ササエトンボ科	オナガササエ	*Onychogomphus viridicosta*			●		
4		オニヤンマ科	オニヤンマ	*Anotogaster sieboldii*			●		
5		ヤンマ科	カトリヤンマ	*Gynacantha japonica*				●	
6		トンボ科	シオカラトンボ	*Orthetrum albistylum speciosum*		●			
7			シオヤトンボ	*Orthetrum japonicum japonicum*		●			
8			オオシオカラトンボ	*Orthetrum triangulare melania*			●		
9			ウスバキトンボ	*Pantala flavescens*			●		
10			コシアキトンボ	*Pseudothemis zonata*			●		
11			チョウトンボ	*Rhyothemis fuliginosa*			●		
12			マユタテアカネ	*Sympetrum eroticum eroticum*			●		
13			ネキトンボ	*Sympetrum speciosum speciosum*			●		
14	ゴキブリ目	チビゴキブリ科	クロモンチビゴキブリ	*Anaplecta japonica*				●	
15		チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	*Blattella nipponica*			●	●	
16	カマキリ目	カマキリ科	ハラビロカマキリ	*Hierodula patellifera*				●	
17			コカマキリ	*Statilia maculata*				●	
18	バッタ目	コロギス科	コロギス	*Prosopogryllacris japonica*	●				
19		ツユムシ科	セスジツユムシ	*Ducetia japonica*				●	
20			ヒメクダマキモドキ	*Phaulula gracilis*				●	
21		マツムシ科	クチキコオロギ	*Duolandrevus ivani*				●	
22		コオロギ科	クマスズムシ	*Scleropterus puctatus*				●	
23		カネタタキ科	カネタタキ	*Ornebius kanetataki*				●	
24		ヒバリモドキ科	マダラスズ	*Dianemobius nigrofasciatus*			●	●	
25			ヒゲシロスズ	*Polionemobius flavoantennalis*				●	
26			クサヒバリ	*Svistella bifasciata*				●	
27		バッタ科	ツヤグロイナゴ	*Stethophyma magister*			●		
28			イボバッタ	*Trilophidia annulata japonica*				●	
29		イナゴ科	ツチイナゴ	*Patanga japonica*	●			●	
30		オンブバッタ科	オンブバッタ	*Atractomorpha lata*				●	
31	ナナフシ目	ナナフシ科	ナナフシモドキ	*Baculum irregulariter-dentatum*		●			
32			エダナナフシ	*Phraortes illepidus*		●			
33	ハサミムシ目	ハサミムシ科	ヒゲジロハサミムシ	*Gonolabis marginalis*			●		
34	カメムシ目	ハネナガウンカ科	アヤヘリハネナガウンカ	*Nomuraida hibarensis*			●		
35		アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ	*Geisha distinctissima*			●	●	
36		セミ科	クマゼミ	*Cryptotympana facialis*			●		
37			アブラゼミ	*Graptopsaltria nigrofuscata*			●		
38			ツクツクボウシ	*Meimuna opalifera*				●	
39			ニイニイゼミ	*Platypleura kaempferi*			●		
40			ヒグラシ	*Tanna japonensis japonensis*			●		
41		コガシラアワフキ科	コガシラアワフキ	*Eoscartopis assimilis*			●		
42		ヨコバイ科	ツヤグロオオヨコバイ	*Bothrogonia ferruginea*	●	●		●	
43		サシガメ科	ヨコヅナサシガメ	*Agriosphodrus dohrni*		●			
44		ナガカメムシ科	オオモンシロナガカメムシ	*Metochus abbreviatus*		●	●	●	
45		ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	*Leptocorisa chinensis*		●			
46		ヘリカメムシ科	ホソハリカメムシ	*Cletus punctiger*		●			
47			ミナミトゲヘリカメムシ	*Paradasynus spinosus*				●	
48		ヒメヘリカメムシ科	ケブカヒメヘリカメムシ	*Rhopalus sapporensis*				●	
49		マルカメムシ科	マルカメムシ	*Megacopta punctatissima*	●				
50		ツチカメムシ科	ツチカメムシ	*Macroscytus japonensis*	●		●	●	
51		カメムシ科	ウシカメムシ	*Alcimocoris japonensis*		●			
52			キマダラカメムシ	*Erthesina fullo*			●		
53			ナガメ	*Eurydema rugosa*	●				
54			ムラサキシラホシカメムシ	*Eysarcoris annamita*		●			
55			クサギカメムシ	*Halyomorpha picus*	●				
56			チャバネアオカメムシ	*Plautia crossota stali*	●	●	●	●	
57			クチブトカメムシ	*Picromerus lewisi*	●				
58		ツノカメムシ科	セアカツノカメムシ	*Acanthosoma denticauda*			●		
59			エサキモンキツノカメムシ	*Sastragala esakii*				●	
60	アミメカゲロウ目	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	*Hagenomyia micans*			●		
61	コウチュウ目	ハンミョウ科	ハンミョウ	*Cicindela chinensis japonica*	●	●	●	●	
62		オサムシ科	ヒメオサムシ	*Carabus japonicus japonicus*	●	●	●		
63			ヨツモンコミズギワゴミムシ	*Tachyura laetifica*			●		
64			マルガタツヤヒラタゴミムシ	*Synuchus arcuaticollis*		●		●	
65			クロツヤヒラタゴミムシ	*Synuchus cycloderus*				●	
66			ヒメツヤマルガタゴミムシ	*Amara nipponica*	●				
67			ナガマルガタゴミムシ	*Amara macronota ovalipennis*			●		
68			ミドリマメゴモクムシ	*Stenolophus difficilis*			●		
69			アトモンアオゴミムシ	*Chlaenius bioculatus*			●		
70			アトボシアオゴミムシ	*Chlaenius naeviger*		●			
71			イクビホソアトキリゴミムシ	*Dromius quadraticollis*			●		
72			ジュウジアトキリゴミムシ	*Lebia retrofasciata*	●		●		
73			ヒラタアトキリゴミムシ	*Parena cavipennis*		●			
74			オオヒラタアトキリゴミムシ	*Parena laesipennis*			●		
75			クロヘリアトキリゴミムシ	*Parena nigrolineata nipponensis*		●			
76			クビボソゴミムシ	*Galerita orientalis*		●			
77		ホソクビゴミムシ科	オオホソクビゴミムシ	*Brachinus scotomedes*			●		
78		ゲンゴロウ科	チビゲンゴロウ	*Guignotus japonicus*			●		
79			ハイイロゲンゴロウ	*Eretes sticticus*			●		
80		ガムシ科	トゲバボマフガムシ	*Berosus lewisius*			●		
81		エンマムシ科	コエンマムシ	*Margarinotus niponicus*			●		
82			アラメエンマムシ	*Zabromorphus punctulatus*			●		
83		シデムシ科	クロシデムシ	*Nicrophorus concolor*			●		
84		ハネカクシ科	ムネビロハネカクシ	*Algon grandicollis*	●		●		
85			サビハネカクシ	*Ontholestes gracilis*			●		
86			アカバハネカクシ	*Platydracus paganus*			●		
87		クワガタムシ科	コクワガタ	*Macrodorcas rectus rectus*			●		
88			ノコギリクワガタ	*Prosopocoilus inclinatus inclinatus*			●		
89		センチコガネ科	センチコガネ	*Geotrupes laevistriatus*		●	●	●	
90		コガネムシ科	アカマダラセンチコガネ	*Ochodaeus maculatus maculatus*				●	
91			ツヤエンマコガネ	*Onthophagus nitidus nitidus*			●		
92			オオクロコガネ	*Holotrichia parallela*			●	●	
93			サツマコフキコガネ	*Melolontha satsumaensis satsumaensis*			●		
94			ヒメアシナガコガネ	*Ectinohoplia obducta*		●			
95			コイチャコガネ	*Adoretus tenuimaculatus*		●	●		
96			セマダラコガネ	*Blitopertha orientalis*			●		
97			ジュウシチホシハナムグリ	*Paratrichius septemdecimguttatus*		●			
98			シロテンハナムグリ	*Protaetia orientalis submarumorea*		●			
99			カナブン	*Rhomborrhina japonica*			●		

No.	目名	科名	和名	学名	調査時期(2012年)				備考
					早春季	春季	夏季	秋季	
100	コウチュウ目	タマムシ科	ヤマトタマムシ	*Chrysochroa fulgidissima fulgidissima*			●		
101			コクロナガタマムシ	*Agrilus yamawakii*			●		
102			キンイロエグリタマムシ	*Endelus collaris collaris*		●			
103			コウゾチビタマムシ	*Trachys broussonetiae*			●		
104		コメツキムシ科	ヒゲコメツキ	*Pectocera fortunei*		●			
105			サビキコリ	*Agrypnus binodulus binodulus*			●		
106			ムナビロサビキコリ	*Agrypnus cordicollis*			●		
107		コメツキダマシ科	アイヌコメツキダマシ	*Farsus ainu*			●		
108		ベニボタル科	ヒメクシヒゲベニボタル	*Macrolycus similaris*		●			
109		ホタル科	ムネクリイロボタル	*Cyphonocerus ruficollis*		●			
110			オバボタル	*Lucidina biplagiata*		●			
111		ジョウカイボン科	ジョウカイボン西日本亜種	*Lycocerus suturellus luteipennis*		●			
112		カツオブシムシ科	ヒメマルカツオブシムシ	*Anthrenus verbasci*		●			
113		ジョウカイモドキ科	ヒロオビジョウカイモドキ	*Laius historio*			●		
114		ケシキスイ科	アカマダラケシキスイ	*Lasiodactylus pictus*			●		
115			マルキマダラケシキスイ	*Stelidota multiguttata*			●		
116			ヨツボシケシキスイ	*Librodor japonicus*			●		
117		ムクゲキスイムシ科	ハスモンムクゲキスイ	*Biphyllus rufopictus*			●		
118		オオキノコムシ科	カタモンオオキノコ	*Aulacochilus japonicus*			●		
119			アカハバビロオオキノコ	*Neotriplax lewisii*		●			
120		テントウムシ科	クロツヤテントウ	*Serangium japonicum*			●		
121			コクロヒメテントウ	*Scymnus posticalis*		●			
122			ヒメアカホシテントウ	*Chilocorus kuwanae*		●	●	●	
123			ヨツボシテントウ	*Phymatosternus lewisii*		●			
124			ベニヘリテントウ	*Rodolia limbata*			●		
125			ナナホシテントウ	*Coccinella septempunctata*				●	
126			キイロテントウ	*Illeis koebelei koebelei*		●			
127		カミキリモドキ科	ホソカミキリモドキ	*Dryopomera yatoi*	●				
128		アリモドキ科	アカモンホソアリモドキ	*Sapintus marseuli*			●		
129		クチキムシ科	オオクチキムシ	*Allecula fuliginosa*		●	●	●	
130		ゴミムシダマシ科	アオツヤキノコゴミムシダマシ	*Platydema maruseuli*			●		
131			ニセクロホシテントウゴミムシダマシ	*Derispia japonicola*			●		
132			ズビロキマワリモドキ	*Gnesis helopioides helopioides*			●		
133			コマルムネゴミムシダマシ	*Tarpela brunnea brunnea*		●			
134			キュウシュウキマワリ	*Plesiophthalmus nigrocyaneus aeneus*			●		
135		カミキリムシ科	ノコギリカミキリ	*Prionus insularis insularis*			●		
136			オオヨツスジハナカミキリ	*Leptura regalis*			●		
137			キイロトラカミキリ	*Demonax notabilis*		●			
138			ベニカミキリ	*Purpuricenus temminckii*		●			
139			ワモンサビカミキリ	*Pterolophia annulata*	●				
140			ホシベニカミキリ	*Eupromus ruber*		●			
141			クワカミキリ	*Apriona japonica*			●		
142			ルリカミキリ	*Bacchisa fortunei japonica*		●			
143		ハムシ科	アズキマメゾウムシ	*Callosobruchus chinensis*			●		
144			アカガネサルハムシ	*Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii*		●			
145			クロウリハムシ	*Aulacophora nigripennis*	●	●	●	●	
146			イタドリハムシ	*Gallerucida bifasciata*	●				
147			エノキハムシ	*Pyrrhalta tibialis*			●		
148			タケトゲハムシ	*Dactylispa issikii*	●				
149		ゾウムシ科	オオタコゾウムシ	*Hypera puncutata*	●				
150			オオミスジマルゾウムシ	*Phaeopholus major*		●		●	
151			イヌビワシギゾウムシ	*Curculio funebris*			●		
152			クスアナアキゾウムシ	*Dyscerus orientalis*			●		
153		オサゾウムシ科	オオゾウムシ	*Sipalinus gigas*				●	
154	ハチ目	ミフシハバチ科	ルリチュウレンジ	*Arge similis*				●	
155		ハバチ科	オオツマグロハバチ	*Tenthredo providens*		●			
156		ツチバチ科	アカスジツチバチ	*Carinoscolia melanosoma fascinata*			●		
157			キオビツチバチ	*Scolia oculata*			●		
158			キンケハラナガツチバチ	*Campsomeris prismatica*				●	
159		アリ科	オオハリアリ	*Brachyponera chinensis*	●		●	●	
160			アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica famelica*		●	●	●	
161			テラニシシリアゲアリ	*Crematogaster brunnea teranishii*				●	
162			ハリブトシリアゲアリ	*Crematogaster matsumurai matsumurai*		●			
163			キイロシリアゲアリ	*Crematogaster osakensis*	●	●	●	●	
164			ヒメアリ	*Monomorium intrudens*	●	●	●	●	
165			オオズアリ	*Pheidole nodus*	●	●	●	●	
166			アミメアリ	*Pristomyrmex pungens*			●	●	
167			クロオオアリ	*Camponotus japonicus*			●		
168			ミカドオオアリ	*Camponotus kiusiuensis*				●	
169			ウメマツオオアリ	*Camponotus tokioensis*			●		
170			ヤマヨツボシオオアリ	*Camponotus yamaokai*				●	
171			ハヤシクロヤマアリ	*Formica hayashi*			●		
172			トビイロケアリ	*Lasius niger*		●	●	●	
173			アメイロアリ	*Paratrechina flavipes*	●	●	●	●	
174			チクシトゲアリ	*Polyrhachis moesta*		●		●	
175		ベッコウバチ科	キバネトゲアシベッコウ	*Malloscelis ryoheii*				●	
176		ドロバチ科	オオフタオビドロバチ本土亜種	*Anterhynchium flavomarginatum micado*			●		
177			ミカドトックリバチ	*Eumenes micado*		●			
178		スズメバチ科	ムモンホソアシナガバチ	*Parapolybia indica indica*		●	●	●	
179			セグロアシナガバチ	*Polistes jadwigae jadwigae*	●			●	
180			ヤマトアシナガバチ	*Polistes japonicus japonicus*			●		環境省RL：DD
181			コガタスズメバチ本土亜種	*Vespa analis insularis*		●	●	●	
182			オオスズメバチ	*Vespa mandarinia japonica*		●	●	●	
183			キイロスズメバチ	*Vespa simillima xanthoptera*		●	●	●	
184			ヒメスズメバチ	*Vespa tropica pulchra*		●	●		
185			クロスズメバチ	*Vespula flaviceps lewisii*			●	●	
186		アナバチ科	サトジガバチ	*Ammophila sabulosa nipponica*			●		
187			ミカドジガバチ	*Hoplammophila aemulans*			●		
188			シロスジギングチ	*Ectemnius iridifrons*			●		
189		ハキリバチ科	オオハキリバチ	*Chalicodoma sculpturalis*			●		
190		コシブトハナバチ科	ニッポンヒゲナガハナバチ	*Tetralonia nipponensis*		●			
191			ケブカハナバチ	*Anthophora pilipes villosula*	●				
192			クマバチ	*Xylocopa appendiculata circumvolans*		●			
193		ミツバチ科	トラマルハナバチ	*Bombus diversus diversus*		●		●	
194			コマルハナバチ	*Bombus ardens ardens*	●	●			
195	ハエ目	ミズアブ科	キイロコウカアブ	*Ptecticus aurifer*				●	
196			ヒメキイロコウカアブ	*Ptecticus sinchangensis*			●		
197			ハキナガミズアブ	*Rhaphiocerina hakiensis*			●		
198		アブ科	ヤマトアブ	*Tabanus rufidens*			●		
199		ツリアブ科	ビロウドツリアブ	*Bombylius major*	●				
200		ムシヒキアブ科	シオヤアブ	*Promachus yesonicus*			●		
201			マガリケムシヒキ	*Neoitamus angusticornis*		●	●		

No.	目名	科名	和名	学名	調査時期(2012年)				備考
					早春季	春季	夏季	秋季	
202		ハナアブ科	オオマメヒラタアブ	*Allograpta javana*				●	
203			クロヒラタアブ	*Betasyrphus serarius*	●	●			
204			フタスジヒラタアブ	*Dasysyrphus bilineatus*				●	
205			ホソヒラタアブ	*Episyrphus balteatus*	●	●	●	●	
206			タイワンオオヒラタアブ	*Eupeodes confrater*				●	
207			フタホシヒラタアブ	*Eupeodes corollae*		●			
208			ホソヒメヒラタアブ	*Sphaerophoria macrogaster*		●			
209			ナガツヤヒラタアブ	*Melanostoma interruptum*	●				
210			ニッポンクロハナアブ	*Cheilosia japonica*	●				
211			*Cheilosia* 属の一種	*Cheilosia* sp.	●				
212			ベッコウハナアブ	*Volucella jeddona*		●			
213			*Brachyopa* 属の一種	*Brachyopa* sp.	●				
214			キョウコシマハナアブ	*Eristalis kyokoae*	●				
215			アシブトハナアブ	*Helophilus virgatus*	●			●	
216			オオハナアブ	*Phytomia zonata*	●				
217			タカオハナアブ	*Criorhina takaoensis*	●				
218			ニセルリイロナガハナアブ	*Xylota coquilletti amamiensis*	●		●		
219		イエバエ科	モモグロオオイエバエ	*Muscina angustifrons*		●			
220		クロバエ科	オオクロバエ	*Calliphora nigribarbis*	●			●	
221			スネアカキンバエ	*Lucilia porphyrina*				●	
222			ツマグロキンバエ	*Stomorhina obsoleta*			●		
223	チョウ目	ハマキガ科	オオアトキハマキ	*Archips ingentanus*				●	
224		メイガ科	シロモンノメイガ	*Bocchoris inspersalis*		●			
225			カギバノメイガ	*Circobotys nycterina*		●			
226			マエアカスカシノメイガ	*Palpita nigropunctalis*	●				
227		セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	*Daimio tethys*		●	●		
228			クロセセリ	*Notocrypta curvifascia curvifascia*			●		
229			イチモンジセセリ	*Parnara guttata guttata*				●	
230			コチャバネセセリ	*Thoressa varia*			●		
231		アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	*Graphium sarpedon nipponum*	●	●	●		
232			カラスアゲハ本土亜種	*Papilio bianor dehaanii*		●	●		
233			モンキアゲハ	*Papilio helenus nicconicolens*		●	●	●	
234			ミヤマカラスアゲハ	*Papilio maackii Menetries*			●		
235			キアゲハ	*Papilio machaon hippocrates*			●		
236			ナガサキアゲハ	*Papilio memnon thunbergii*	●	●	●		
237			クロアゲハ本土亜種	*Papilio protenor demetrius*		●	●	●	
238		シロチョウ科	ツマキチョウ	*Anthocharis scolymus*	●				
239			モンキチョウ	*Colias erate poliographus*		●			
240			キタキチョウ	*Eurema mandarina*	●		●		
241			スジグロシロチョウ	*Pieris melete melete*	●				
242			モンシロチョウ	*Pieris rapae crucivora*	●				
243		シジミチョウ科	ルリシジミ	*Celastrina argiolus ladonides*	●				
244			ベニシジミ	*Lycaena phlaeas daimio*	●		●		
245			ムラサキツバメ	*Narathura bazalus turbata*				●	
246			ムラサキシジミ	*Narathura japonica*	●			●	
247			ヤマトシジミ本土亜種	*Zizeeria maha argia*		●		●	
248		ウラギンシジミチョウ科	ウラギンシジミ	*Curetis acuta paracuta*	●			●	
249		テングチョウ科	テングチョウ本土亜種	*Libythea celtis celtoides*	●			●	
250		マダラチョウ科	アサギマダラ	*Parantica sita niphonica*		●		●	
251		タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン	*Argyreus hyperbius hyperbius*			●		
252			イシガケチョウ	*Cyrestis thyodamas mabella*		●	●		
253			ゴマダラチョウ	*Hestina japonica*		●	●		
254			ルリタテハ本土亜種	*Kaniska canace nojaponicum*	●		●		
255			イチモンジチョウ	*Ladoga camilla japonica*			●		
256			コミスジ	*Neptis sappho intermedia*		●	●		
257			アカタテハ	*Vanessa indica*	●			●	
258		ジャノメチョウ科	クロヒカゲ本土亜種	*Lethe diana diana*		●	●		
259			クロコノマチョウ	*Melanitis phedima oitensis*	●				
260			コジャノメ	*Mycalesis francisca perdiccas*		●	●		
261			ヒメジャノメ	*Mycalesis gotama fulginia*			●		
262			サトキマダラヒカゲ	*Neope goschkevitschii*		●	●		
263			ヒメウラナミジャノメ	*Ypthima argus*		●	●		
264		カギバガ科	マエキカギバ	*Agnidra scabiosa scabiosa*		●			
265		トガリバガ科	モントガリバ	*Thyatira batis japonica*		●			
266		シャクガ科	セスジナミシャク	*Evecliptopera decurrens illitata*	●		●		
267			ケブカチビナミシャク	*Gymnoscelis esakii*	●				
268			ヒメマダラエダシャク	*Abraxas niphonibia*		●			
269			ナカウスエダシャク	*Alcis angulifera*		●			
270			オオツバメエダシャク	*Amblychia angeronaria*		●			
271			クロクモエダシャク	*Apocleora rimosa*		●			
272			ヒメウコンエダシャク	*Corymica arnearia*		●			
273			ウコンエダシャク	*Corymica specularia pryeri*			●		
274			エグリエダシャク	*Fascellina chromataria*		●	●		
275			ハミスジエダシャク	*Hypomecis roboraria displicens*		●			
276			フタホシシロエダシャク	*Lomographa bimaculata subnotata*		●			
277			オオマエキトビエダシャク	*Nothomiza aureolaria*		●			
278			マエキオエダシャク	*Plesiomorpha flaviceps*			●		
279			マルハグルマエダシャク	*Synegia ichinosawana*		●			
280			モンシロツマキリエダシャク	*Zethenia albonotaria nesiotis*		●			
281			ミスジツマキリエダシャク	*Zethenia rufescentaria*		●			
282		スズメガ科	ウチスズメ	*Smerinthus planus*		●			
283			ハネナガブドウスズメ	*Acosmeryx naga*		●			
284			ホシホウジャク	*Macroglossum pyrrhosticta*				●	
285		シャチホコガ科	ホソバネグロシャチホコ	*Disparia variegata sordida*		●			
286		ドクガ科	ゴマフリドクガ	*Euproctis pulverea*			●		
287			マイマイガ	*Lymantria dispar japonica*			●		
288		ヒトリガ科	スジベニコケガ	*Miltochrista striata striata*		●			
289			スジモンヒトリ	*Spilarctia seriatopunctata seriatopunctata*		●			
290			アカハラゴマダラヒトリ	*Spilosoma punctaria*		●			
291		ヤガ科	カギモンヤガ	*Cerastis pallescens*	●				
292			フタスジヨトウ	*Protomiselia bilinea*			●		
293			モンキコヤガ	*Hyperstrotia flavipuncta*		●			
294			オオトビモンアツバ	*Hypena occata*				●	
295			トビスジアツバ	*Herminia tarsicrinalis*			●		
296			オオアカマエアツバ	*Simplicia niphona*			●		

注１）種名及び配列は基本的に「日本産昆虫総目録」（九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編集、1989）に従った。
注２）備考の凡例　環境省RL:「第４次レッドリストの公表について」（2012年）
DD：情報不足

表４．哺乳類リスト

No.	目名	科名	和名	学名	調査時期											年間	その他	備考
					2011年		2012年											
					11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	7月	8月	9月	10月			
1	食虫目	モグラ科	コウベモグラ	*Mogera wogura*													△	
2	霊長目	オナガザル科	ニホンザル	*Macaca fuscata*													△	福岡県RDB：NT
3	食肉目	イヌ科	タヌキ	*Nyctereutes procyonoides*	●	●	●		●	●	●	●	●●	●●	●	●		
4		イタチ科	テン	*Matres melampus*								●	●			●		
5			シベリアイタチ	*Mustela sibirica*						●						●		
6			アナグマ	*Meles anakuma*						●	●	●●	●●			●		
7		ネコ科	イエネコ	*Felis catus*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
8	齧歯目	リス科	ムササビ	*Petaurista leucogenys*													△	福岡県RDB：NT
9		ネズミ科	アカネズミ	*Apodemus speciosus*										●	●	●		
10	兎目	ウサギ科	ノウサギ	*Lepus brachyurus*	●	●									●	●		
	5目	8科	10種		3種	3種	2種	1種	2種	4種	3種	4種	4種	3種	4種	7種	3種	

●の数は一枚の写真に写った最大頭数を示す。
注１）種名及び配列は「日本の哺乳類（改訂版）」（阿部他　2005）に従った。
注２）重要種の凡例
福岡県RDB:「福岡県の希少野生生物　― 福岡県レッドデータブック2011植物群落・植物・鳥類・哺乳類 ―」の掲載種
NT：準絶滅危惧種

（ささき　ひろし：幼児教育科　教授）
（たむら　ふみこ：アジア文化学科　准教授）
（もりた　しんや：日本語・日本文学科　准教授）
（もり　ひろこ：元客員教授）
（ひろなが　てるひこ：株式会社地域環境計画）